

尚武

- 1 会長挨拶
- 2 令和4年度総会
- 3 部員数報告・新入部員紹介
- 4 試合結果・予定
- 5 令和4年夏季合宿
- 6 新入社員奮闘記
- 7 お知らせ

1 会長挨拶

名城大学剣道部後援会会長 高石 和人 (18代)



日頃は名城大学剣道部、並びに本会の活動には格別なるご厚情とご理解、ご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

昨年も新型コロナ感染の動向に明け暮れ、今年こそ不安や不自由のない日常への回帰を期待した途端、オミクロン変異株の感染急拡大に肝を冷やし、2月にはロシアのウクライナ侵攻というあってはならない「戦争」が勃発するなど、世界規模の情勢変化に心の置き場を失う思いでございます。それでも、本会会員の皆様、剣道部員諸君、ご父兄の皆様、また大学関係者の皆様には豊かで希望に満ちた日常に戻れますことを心から念ずる次第でございます。

新型コロナ感染拡大の影響により本会活動はこの2

年間、総会や稽古会、支部会の開催を止む無く取り止めるなど誠に残念であったことに加え現役に対する支援につきましても甚だ不十分であったように感じております。一方で、現役に対する物心両面の支援、会員相互の研鑽と親睦活動、財政基盤の健全化、或いは名城大学建学100周年(2026年)記念事業への協力準備、そして剣道部創部70周年(2025年)記念事業開催是非の検討、更に、後援会報発行中止に伴う情報提供・発信の在り方など、本会の存在意義、今後の目標設定、活動方針等につきまして深く考える有益な時間を与えて頂きました。

とりわけ東海地区学生剣道界における古豪名城大学剣道部の復活を期待しつつ、これからも手を弛めることなく本会活動を進めて参りたく、引続き皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

2 令和4年度総会

◆総会

令和4年6月18日(土)新型コロナウイルス蔓延防止のため中止していた後援会総会及び合同稽古会が約3年ぶりに、可児市大森の「漱玉館」で開催されました。会の冒頭、明日6月19日に3回忌命日をお迎えになる岩本伸彦元監督、並びに不慮の事故、薬石効無くお亡くなりになられたOB各位のご冥福をお祈りし高石会長の号令により黙とうが捧げられました。

高石会長より、歴代会長の思いを繋ぎ、若手の参画を期待しつついかに発展していくか、とりわけ、名城大学建学100周年(2026年)への支援、剣道部創部70周年(2027年)の開催是非について協議する時期に来ているとの提起がなされました。

総会は、令和3年度収支報告、並びに令和4年度活動報告、令和4年度事業予算(案)、後援会報発行の段階

的中止について高石会長、上田事務局長より説明があり、全員一致で承認されました。今後の後援会費の徴収の方法等については様々な意見がありましたが検討課題としました。稽古会では、高石師範の指揮の元、歴代の先輩方が上座となり指導稽古が行われ、学生時代さながらの気合を出しながら稽古で汗を流し、世代を超えた名城大学剣道部OBの一体感を強く感じる光景でした。



◆令和3年度収支報告

令和3年度 収支報告書			
(自 令和3年4月1日、至 令和4年3月31日)			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	4,309,746	試合・遠征援助	100,000
会費(会員)	805,000	合宿援助	0
会費(賛助会員)	135,000	現役指導	100,000
自販機設置料	8,313	現役支援	56,700
雑収入	233	定時総会	0
		後援会報	229,444
		支部会	0
		学連剣道大会	0
		渉外活動	86,490
		事務局経費	16,578
		次年度繰越金	4,669,080
収入合計	5,258,292	支出合計	5,258,292

◆令和4年度事業計画

令和4年度 事業計画書			
(自 令和4年4月1日、至 令和5年3月31日)			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	4,669,080	試合・遠征援助	400,000
会費(会員)	860,000	合宿援助	220,000
会費(賛助会員)	85,000	現役指導	100,000
自販機設置料	10,000	現役支援	12,000
雑収入	10,000	定時総会	55,000
		後援会報	100,000
		支部会	50,000
		学連剣道大会	128,000
		渉外活動	150,000
		事務局経費	20,000
		次年度繰越金	4,399,080
収入合計	5,634,080	支出合計	5,634,080

3 部員数報告・新入部員紹介

◆部員数



	男子	女子	計
4年生	3名	0名	3名
3年生	7名	2名	9名
2年生	4名	3名	7名
1年生	8名	1名	9名
計	22名	6名	28名



◆小栗 秀斗 (大垣商業高校/経済学部 3段)
一回一回の稽古を全力で取り組み、4年間悔いのない学生生活を送りたいです。



◆増茂 航 (豊田南高校/法学部 3段)
部活動と学業を両立しながら、大会で良い結果を出せるように日々の練習を頑張っていきたいと思ひます。



◆又吉 美悠理 (前原高校/法学部 3段)
心強い先輩方や先生方、頼もしい仲間と共に練習に励むことが出来る環境にお感謝しながら日々精進していきたいと思ひます。



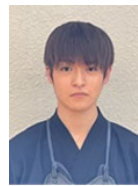
◆鈴木 恭介 (星城高校/法学部 3段)
高校で果たせなかった目標を大学では成し遂げられるよう部活動に励みたいと思ひます。



◆竹田 昂生 (東邦高校/法学部 3段)
大学では自主性が求められるので積極的に行動し、いい結果が納められるように頑張りたいです。



◆前田 将太朗 (四日市工業高校/理工学部 3段)
剣道部の一員として楽しむことを忘れず、部の仲間たちと高め合いながら成長できるよう精一杯頑張ります。



◆丹羽 悠人 (美濃加茂高校/法学部 3段)
今までとは環境が変わって、慣れないことがたくさんありますが、文武両道を目指して頑張ります。



◆奥村 宙歩 (杜若高校/人間学部 3段)
部活動と勉強を両立させ、大会では良い成績を収められるよう、頑張っていきたいと思ひます。



◆高橋 祐次 (桑名高校/理工学部 3段)
自分にとって理想の打突が出来るようになることを目標に日々の稽古を全力で取り組んでいきたいです。

4 試合結果・予定

◆東海学生剣道選手権大会

5月15日（日）於 スカイホール豊田
加藤圭悟：3回戦進出
松永比那：3回戦進出

◆西日本剣道大会

女子：5月28日（土）於 久留米アリーナ
男子：5月29日（日）於 久留米アリーナ
女子：1回戦、神戸親和女子大学と対戦 0-2 で敗退
男子：1回戦、京都産業大学と対戦 1-4 で敗退

◆東海学生剣道新人選手権大会

6月12日（日）於 東スポーツセンター
男子2回戦進出：鈴木 恭介・竹田 昂生
奥村 宙歩・増茂 航
前田 将太朗・高橋 祐次

◆東海学生剣道優勝大会

男子：9月19日（月）於 スカイホール豊田
女子：10月2日（日）於 枇杷島スポーツセンター

◆全日本学生剣道優勝大会

10月3日（日）於 エディオンアリーナ大阪

◆東海学生剣道新人優勝大会

11月26日（土）於 OKB 岐阜清流アリーナ

◆全日本女子学生剣道優勝大会

11月13日（日）於 春日井市総合体育館



5 令和4年度夏季合宿案内

- ・日時：8月24日（水）～29日（月）
- ・場所：漱玉館
岐阜県可児市大森字奥洞 989-1
- ・ご連絡：OB、OGの稽古参加につきましては主務にご連絡をお願い致します。
- ・E-Mail：190101084@ccmailg.meijo-u.ac.jp
- ・※E-Mailアドレスは名城大学剣道部公式HPでもご確認いただけます。



6 新入社員奮闘記

◆62代 神田 寛基（マックスバリュ東海株式会社）

この春にマックスバリュ東海に入社し、現在は、畜産担当として売り場づくりに勤しんでいます。

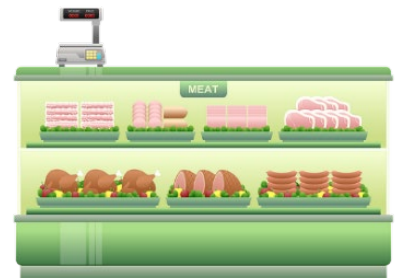
学生時代の比にならないほど覚えることがあり、作業場では新入社員でも、売り場に出ればお客さまからはプロとして見られます。そのため、先輩方に分からないところを日々質問して知識を付けるよう努力しています。

店舗配属したての頃は、先輩方についていくのに必死でしたが、現在では指示待ちではなく自発的に行動できるようになってきました。しかし、先輩方の知識量や技術、仕事に取り組む姿勢など至らない点も多く、数字で

評価される世界に入ったからには少しでも早く一人前になれるよう努力していきたいと思っています。

一年目は、仕事以外にもマナーや報連相など社会人として基本的なことも学ばなければならず、来月には昇格試験も控えており気が

抜けない日々を送っていますが、剣道で培った様々なことを活かして頑張りたいと思います。



◆62代 宮野 航 (名城大学大学院理工学研究科)



新入社員では御座いませんがご指名賜りましたので、僭越ながら大学院での生活を書き綴りたいと思います。

大学院では講義と研究を同時に進める必要があります。講義の内容はより専門的になり、学生が調べて発表する形式の講義が増えます。自身の研究を進めつつ学部生の研究の指示もする必要があります。大学院に進学してまだ日が浅いですが、自分で考える力が付いていると感じます。

◆62代 石田 百花 (ネットフォース株式会社)

大学を卒業して早くも3か月が経とうとしています。私は現在、ネットフォース株式会社に勤めており、配属の部署は決まっていますが、学校で使用される手帳アプリ開発のプロジェクトに、OJT研修生として日々学んでいます。社会人になった今、身に着けるべき力が2つあると思っています。

1つが伝える力です。新社会人である今は、上司の方と接する時間が多くあります。その際に必ず必要になるのが、分かりやすく事実を伝えることです。学生の頃は自分の考えを持つこと、それに伴って自分の意見を伝えることが軸になっていました。しかし、仕事をする上では、どのような事実があるのかをきちんと伝えることが、常に求められていると感じています。

修士課程では1年目から就活を始める必要があります。私は就活をほとんどせずに大学院に進学したため、就活の仕方が分からず、苦戦を強いられています。私自身が経験をすることで就活の大変さを身に染みて感じ、就職している皆様の凄さを改めて感じました。私も希望する企業に就職できるよう尽力します。

同期の皆さん、新入社員としての気苦労が多い時期では御座いますが、ご自愛いただき、益々のご活躍を祈念致します。皆さんのご活躍を励みに私も頑張りたいと思います。

2つ目は頼る力です。人に頼ることは1人で頑張ることよりも難しく、大変なことだと改めて思いました。速さや正確さ、創造性を求められる環境では特に、人の力を借りなければならない場面があると思います。素直に人に聞いたり助けてもらったりしながら、積極的に行動して物事を進めていく力が必要だと感じています。

まだ慣れない環境で戸惑うことが多くありますが、剣道部で身につけてきた諦めない姿勢、また主体性を持ちつつ業務に取り組んでいこうと思っています。



7 お知らせ

◆ 後援会報の段階的発行中止に関するお知らせ

予てよりお知らせしております通り、後援会報は現在、夏季号・新年号として年2回剣道部現役の活躍の状況、後援会の活動や会員の近況等の情報提供などを行い、発行を楽しみにされるOBも多く、一定の役割を担って参りましたが、ネット社会という大きな流れやコストや手間、また作業的な負担がある中、次代に向けてもっと効率的な情報提供機能の構築が必要であるとして従来の紙媒体による後援会報の発行を中止するとの結論に至りました。

今号、令和5年新年号に限り送付対象者を限定して30代迄を対象として郵送致しますが、31代以降、及び賛助会員の皆様には送付致しませんので、名城大学剣道部公式ホームページにて確認をお願い致します。(印刷も可能です)

名城大学剣道部後援会会報 (令和4年夏季号)

発行日: 令和4年7月1日

発行人: 高石 和人 (会長、18代)

編集人: 上田 剛裕 (事務局長、31代)、鬼頭 拓也 (主務、64代)、加藤 圭悟 (副務、65代)

発行所: 名城大学剣道部後援会事務局

〒465-0028 名古屋市名東区猪高台1-212 (201)

TEL/FAX 052-778-4160 E-Mail takaishik910@yahoo.co.jp

